

週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

第22回「三重漁民の森」造成事業開催 3月11日(土)

3月11日(土)、津市美杉町にある君ヶ野ダム周辺山林にて三重県漁連主催の第22回「三重漁民の森」造成事業が開催されました。

「三重漁民の森」造成事業とは、平成10年から行われている植樹を主とした活動であり、毎回漁業関係者に多数参加していただいております。この活動は、森林荒廃を防ぎ、結果的に河川への土砂流入や流木被害等を軽減させ、海の環境保全を図っていくことを目的としています。

当日は約45名の漁業関係者等が参加し、約30m四方に、イロハモミジ22本、ヤマザクラ22本の計44本の植樹を行いました。



植樹をする様子



植樹終了後の記念撮影

機器導入・セーフティーネット ・リース事業等について

2月20日(月)、水産会館4Fにて漁業を持続可能とするための漁業者支援事業である、競争力強化型機器導入緊急対策事業、漁業経営セーフティーネット構築事業、水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業(浜の担い手漁船リース緊急事業)、水産業成長産業化沿岸地域創出事業(新リース事業)の説明会を開催しました。

各書類の提出期限は以下の通りとなっております。

<書類提出期限>

- 競争力強化型機器導入緊急対策事業
 - ・申請書提出期限(通常申請)
令和5年3月20日(月)
- 漁業経営セーフティーネット構築事業
 - ・提出書類申込期限(燃油・配合飼料共通)
令和5年3月16日(木)必着
- 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業
 - ・提出期限
4月末日：誓約書、中古漁船調査票、中核的漁業者推薦書
5月17日：価格審査申請書
5月末日：新船建造ヒアリング用チェックシート、事業提案書及び添付資料、資源管理計画がない場合の申請様式
- 水産業成長産業化沿岸地域創出事業
 - ・需要調査：提出期限2月22日
その他提出書類：提出期限4月14日

第46回全国海水養殖シンポジウム開催

2月15日(水)、三重県総合文化センターにて第46回全国海水養殖シンポジウム(主催:全国海水養魚協会)が開催されました。本シンポジウムは、新型コロナウイルス感染拡大の影響で3年ぶり、三重県開催は10年ぶりとなり、業界関係者で取り組むべき課題について意識の共有を図ることを目的としています。

当日は全国から約300名もの養殖業者らが参加し、開会式の後、初めに東京大学大学院農学生命科学研究所・鈴木宣弘教授より、「世界で最初に飢えるのは日本-食の安全保障をどう守るか-」をテーマとした講演が行われ、食料危機が迫っている日本にとって「国内生産確保に全力を挙げる必要性和安全保障」について力強く語りかけ、会場の共感を得ていました。次に鹿児島大学水産学部・佐野雅昭教授より、「魚類養殖業の産業原理と成長産業化への課題」をテーマに講演が行われ、養殖業の成長が国家的課題として求められる中、今後必要となる技術目標や経営課題の提示、それを踏まえた日本魚類養殖業の展望について述べられ、参加者らは講演に熱心に耳を傾けていました。最後に、代表者会議結果報告と漁場改善計画の見直しについての発表が水産庁からありました。

なお、翌16日には、伊勢神宮内宮にて養殖魚の奉納と垣内参拝が行われ、県内外の養殖業者約100名が参加しました。



伊勢神宮内宮 青さのり奉納

2月17日(金)、県内の青さのり生産者で構成される青さのり事業推進委員会と漁連は伊勢神宮内宮にて収穫したばかりの県産の青さのりの奉納を行いました。青さのり生産者が海の恵みへ感謝し、永続豊漁を祈願して毎年行っていましたが、今回は新型コロナウイルス感染拡大の影響で3年ぶりの奉納となりました。



青さのり奉納の様子

【主な予定】

- 3/16 第5回青のり共販(松阪)
- 3/24 第9回黒のり共販(松阪)
- 3/30 第6回青のり共販(松阪)

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。